



北九州市
折尾総合開発事務所 一岡

皆様方には良きお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より折尾地区のまちづくりについてご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今後とも事務所一丸となり、皆様方と共に事業を進めて参りますので、これまで同様、よろしくお願ひ申し上げます。

新年明けまして
おめでとございます

新春



折尾地区総合整備事業の進捗状況について

◆連続立体交差事業

昨年は、平成18年8月より着手しました筑豊本線と短絡線の迂回ルートとなる西折尾地区のトンネル工事の一部が完成いたしました。今年も、引き続き、直方方面に向けて、トンネルの延伸工事を行ってまいります。

また、折尾駅前駐輪駐車場の撤去が完了し、新々堀川の切替工事に着手しています。未着手部分を含め平成22年度末には、河川の切替工事が完了する予定です。

工事期間中は、皆さんには何かと、ご不便やご迷惑をお掛けするかとと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

◆土地区画整理事業

- 折尾土地区画整理審議会が設置されました。
 - ・地権者委員8名、学識経験委員2名、計10名で審議会が発足しました。
- 第1回折尾土地区画整理審議会が開催されました。
 - ・平成19年10月31日、第1回審議会が開催され、正副会長や審議会運営規則などが決まりました。
- 市営折尾駅前駐輪駐車場の解体工事が完了しました。
 - ・平成19年6月に着手した市営駐輪駐車場の解体工事が10月末に完了しました。
- 用地買収に着手しています。
 - ・堀川町や北鷹見町で連続立体交差事業に関連のある用地や物件等の買収を進めています。

【お願い】

- ・区画整理地区内で、建築物の建替えや新築する場合は、区画整理法による許可が必要です。計画のある方は、事前に折尾総合開発事務所にご相談ください。
- ・区画整理地区内で、売買や相続で権利の変更がある場合は、折尾総合開発事務所にご連絡ください。

◆街路事業(折尾駅前周辺、折尾南北線、折尾東西線)

昨年までは、整備を急ぐ北口駅前広場を中心に用地交渉を進めてきました。これまでに、北口駅前広場では、地権者やテナントの方々のご協力をいただき、建物12棟の解体が完了しています。そのほか、日吉台光明線や折尾南北線についても、建物7棟の解体が完了しています。

さらに、昨年2月に北鷹見地区で事業認可を取得した折尾南北線と折尾東西線については、測量・設計を実施しています。

今年も、引き続き北口駅前広場の用地交渉を進めるとともに、日吉台光明線や乙丸折尾線についても、建物調査や用地交渉を進めて行くこととしています。

また、北口駅前広場の水路や折尾すい道付近の日吉歩道橋の移設工事にも着手する予定です。

◆市民とのパートナーシップによるまちづくり

平成18年度から、おりお未来21協議会の皆様と協働して、まちづくりビジョンの策定に取り組んでいます。

平成19年度は、次の4つの専門部会を設置し、具体的なテーマについて検討を行っています。

- ①「にぎわい創造部会」
まちのにぎわいづくりと商業の活性化等
- ②「街デザイン部会」
新しく整備する折尾駅や堀川沿いの景観形成等
- ③「歴史的建造物部会」
折尾駅舎などの歴史的建造物の保存活用等
- ④「生活・安全部会」
人にやさしく住みやすい街とするためのまちのあり方等

平成20年度には専門部会の検討結果をビジョンに反映させ、「折尾まちづくりビジョン」を策定する予定です。

今後も、皆様方とのパートナーシップによる折尾地区のまちづくりを進めてまいります。よろしくお願ひします。

ご相談・ご質問は

北九州市 折尾総合開発事務所
住所：〒807-0825 北九州市八幡西区折尾四丁目8番18号(旧折尾警察署跡)
電話：093(602)3108 FAX：093(602)3128
HP：http://www.city.kitakyushu.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=6302
e-mail：toshi-orio@city.kitakyushu.lg.jp

裏面も
ご覧下さい

連続立体交差事業工事概要

◆折尾駅周辺の新々堀川の切替工事の状況

折尾駅周辺の鉄道高架化の支障となる新々堀川を、河川の維持管理を容易にするために、将来の道路となる部分に移設します。形状は、現在と同様に地中に埋設した箱型の水路形式となります。この河川の切替を折尾駅前の駐輪駐車が撤去された昨年からは着手しており、平成22年度末に新々堀川の切替が完了する予定です。

今回の工事区間は、本市が施工する駐輪駐車場跡地付近の60mの区間と、JR九州が施工するJR鹿児島本線の下を横断する30mの区間です。

本市の施工方法は、地上から溝を掘り、その溝に箱型の水路を設置、埋め戻す工法です。JR九州の施工方法は、列車を通しながらJR鹿児島本線の下を掘り、箱型の水路を設置する工法です。

◆トンネル部の工事の状況

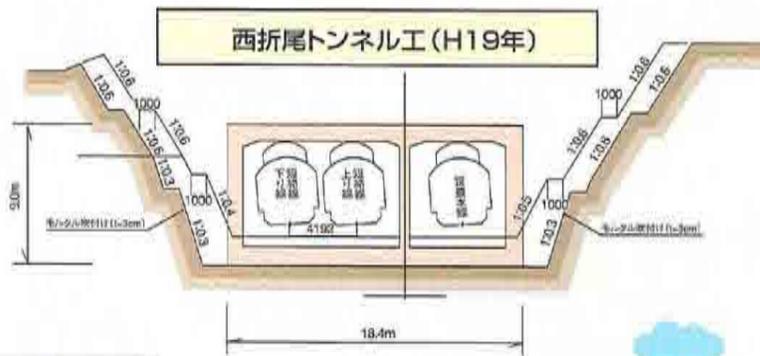
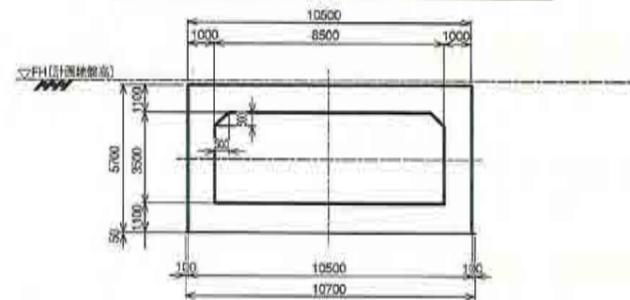
昨年は、迂回ルートとなる西折尾地区のトンネルの一部（筑豊本線166m、短絡線（福北ゆたか線）196m）が完成し、今年も、引き続き、直方方面に向けて、トンネルの延伸工事を行います。

今年のトンネル工事は、短絡線（福北ゆたか線）と、筑豊本線のそれぞれのトンネルが合流し、1本のトンネルになる区間（111m）の工事です。

トンネルの施工方法は、昨年からの工事と同様に、地上から大きな溝を掘削し、その溝にトンネルの構造物を建設して埋め戻す工法です。



新々堀川移設工



【工事状況写真】

